

キエーロ 100 台シンポ:講演概要

1. 日時 2014/8/29(金) 18:00～19:45 (天候:弱い雨)
2. 場所 きらら鎌倉第五集会室
3. 出席者
(鎌倉ハイランド自治会)高橋 巖会長、富樫和也様(昨年のごみ減量推進員)、山下保子様(昨年環境厚生部幹事)
(キエーロ発明者)松本信夫様
(鎌倉市)松尾市長、石井環境部長、小池次長、内海課長、谷田課長補佐、大高職員
(鎌ごみ)高田代表、鈴木副代表他
(一般)自治町内会関係者(ごみ減量化推進員等)、ごみ減量に関心のある市民
4. プログラム
17:45 開場
18:00 開会、趣旨説明(司会者:鎌ごみ鈴木副代表)
18:02 挨拶(松尾市長)
18:05 鎌倉ハイランド自治会に於けるごみ減量への取り組み(高橋会長)
18:41 生ごみ処理機 100 台普及運動について(富樫様)
18:50 キエーロを使った体験報告(山下様)
19:04 質疑ならびに意見交換
19:49 閉会(司会者)
5. 配布資料
(ア)チラシ
(イ)鎌倉ハイランド自治会に於けるごみ減量プロジェクトと生ごみ処理機 100 台普及運動
(ウ)キエーロでエコライフの一助に！
(エ)非電動型生ごみ処理機の一部を市役所の窓口で販売します！
(オ)自治会だより集(鎌倉ハイランド自治会)(注)プロジェクトの経過がよくわかります
6. 講演内容
6.1 「鎌倉ハイランド自治会に於けるごみ減量プロジェクトと生ごみ処理機 100 台普及運動」(高橋会長)→スライド参照

6.2 生ごみ処理機 100 台普及運動について(富樫様)
生ごみの分別は主婦の仕事が増えるということで心理的にネガティブだったが公共性があれば 20%は協力してもらえるとという社会心理学者の意見を信じてスタート

した。しかし情報発信が大切。実務としては市への代行申し込みを毎日実施し、受領書をすばやく申込者に届けたことが良かったと思っている。→普及台数のグラフ

6.3 キューロを使った体験報告(山下様)→感想文(資料ウ)参照

やれることは全てやるという高橋さんの意見に従った。一軒一軒まわって説得した。様々な苦情が寄せられた。ごみが消えない。虫がわいた。臭いがするなど。キューロは夏場は問題ないが、冬場は元気がなくなる。油脂成分のある米ぬかを混入することは効果がある。PRには専門家の意見を添えることが説得することに効果があった。また、落ち葉をまぜると空気が入り有効。玉ねぎの皮など消えなかった物は取り出してもよいそのまま放置してもよい。エバンジェリストとして町内を回って苦情処理にあたった。声をかけて下さると嬉しかった。

7. 質疑内容

(ア) (山崎)キューロは一人住まい、集合住宅でも利用可能か

(回答)キューロは深さがあり高齢者には天地返しの攪拌が困難。

(回答)おしゃれキューロがある。一人住まい用もある。

(回答)一人暮らしにはダンボールコンポストの利用もできる。堆肥で野菜作りをしている例もある。

(イ) (大船南が丘)キューロのトラブルはどんなものか

(回答)虫がわいたという苦情があった。よくかき混ぜることが重要。石灰を混ぜる方法、よくかき混ぜることが効果がある。(注)虫がバクテリアという説明があったが・・・。

(回答:松本氏)虫は一度わいてしまうと駆除が難しい。生ごみをいれずに毎日攪拌をつづけていると酸素が入って駆除できる。虫発生の原因を排除することが大切。(個別に回答する。)

(ウ) シロアリが侵入しないか

(回答)防腐剤がぬってある。ブロックの上に置く方法もある。

(回答:松本氏)シロアリは場所によって異なる。こちらでは、カラマツの間伐材を用いている。5-6年は大丈夫である。

(エ) 市への申し込みの簡便化はできないか。

(回答:市)納入通知書の作成に1件10分位かかっている。代金の支払いは現金である。その後、業者から1~2週間で納品される。

(オ) 小動物対策として網をはった製品をつくってはどうか。

(回答:松本氏)クレームがあった場合こちらでは、ステンレスの網を追加している。ふわっとした網でも効果がある。

(カ) (十二所)10台代理手続きした。周囲に人に宣伝を依頼している。谷戸で日

当たりが悪いがキエーロは使えるか。

(回答)半日は日当たりがほしい。柑橘類は分解が遅い。

(回答:松本氏)表面の土をかわかす必要がある。冬場は厳しい。キエーロは魔法の箱ではない。柑橘類の皮の表面は抗菌作用があり分解が遅い。また、貝殻も分解できない。分解できないものは取り出してもそのまま放置してもかまわない。

(キ) (材木座)お年寄りで受動的な人に向くか

(回答)向かない。

(回答)庭に直接穴を7ヶ掘る方法も労力が大変。犬猫が掘り返さないようにするのも大変。

(回答)キエーロと庭に穴を掘る方法の比較ではキエーロの方が早く分解された。

(回答:市)足つきのベランダでキエーロと底なしの「お庭で(土置き型が正しい)キエーロ」がある。蓋があるので犬猫対策になる。

(回答:高橋氏)家庭系ごみ 26,000t の内 12,000t が生ごみで、それを 6,000t に半減できれば、今泉 CC が停止になっても処理可能です。70,000 世帯の多くが家庭で生ごみを処理できれば名越クリーンセンターだけでも対応可能で、今泉 CC が運用停止後の燃やすごみ問題はなくなる。集中より分散の方がよい。市はもっと強力に生ごみ処理機の普及を推進するべき。継続的にイベントなどをつづけるべき。

(ク) (松本製でない)キエーロが1年で壊れてしまった。

(回答:松本氏)当社製は競争入札に負けて直販対象になっていない。各社のキエーロの耐久性は異なる。それぞれのメーカーがきちんと対応するべき。

(回答:司会者)直販以外の製品の場合、手続きは異なるが 90%補助は受けられる。

(ケ)一人暮らしの高齢者で攪拌困難な場合ヘルパーさんに依頼できないか。

(回答:市)ケアプランにそったヘルプを行う。結論として攪拌はできない。

(注)厚生労働省の点数表にないため？

(回答)地域でかき混ぜ隊の派遣を考えたこともあるがプライバシーの問題などがあり見送った。

(コ) (関谷)キエーロのユーザの声。生ごみの自家処理をしていると生ごみのでない生活を考えるようになる。問題意識がでる。自分でやってみることが大切。減量ができないのも他人まかせのため。ごみは砕いた方がよい。

(回答:司会)鎌ごみでは「ごみ減量のキャラバン」を実施している。無料なの

で希望の町内会や団体から依頼してほしい。出前もしています。

8. その他

キエーロの発明者である松本氏からの適切なアドバイスがいただけたのは大変よかったです。

以上